

福祉開発論

担当教員： 吉村輝彦

履修年次・区分： 3・4年（専門－展開－経済・経営）

授業のテーマ： 福祉開発とは、一人ひとりが価値ある生き方を選択し、また、様々な関係を構築させながら自他の福祉を向上させることであり、そうした行為主体が成立しうるような地域社会の形成やそうした方向へと促す政策対応のことである。本科目では、福祉開発の概念や、福祉開発を射程に入れた地域づくりのあり方、それを展開していく上でのマネジメントのあり方、支援ワーク（ワーカー）のスキルと心、そしてその地域実践のあり方について講義を進める。

この日の授業内容： 福祉開発と地方再生の取り組み



鹿児島県の「やねだん」、徳島県の「いんどり」といった日本の地域再生の現場の実例を挙げ、高齢者や障がい者も生き生きと活躍できる取り組みについて考えます。

「行政に頼らず、私発でやってしまうことで、当事者意識をもってそれぞれの物語を紡いでいけます。そして結果的に、まちづくりにつながっていくこともあります。」

地域や町の活性化とは何でしょうか？「コミュニティデザイナーの山崎亮さんの考える活性化は、『その人に活力が湧いてきて生き生きしてくること。人がそれぞれの関心に応じて自分から動いていること。それぞれの役割を主体的に果たしていること』です。」DVDを視聴し、福山のまちの活性化についてグループディスカッションを行いました。

(2016年9月取材)